タカハシニュース
TAKAHASHI NEWS

No.66

2022年8月吉日発行

ご挨拶

常務取締役　山田　裕司

残暑お見舞い申し上げます。

今年は統計史上初めて6月に梅雨が明け、その後は記録的な猛暑や大雨などの異常気象が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。熱中症予防には冷房活用が効果的ですが、全国的に節電への協力が呼びかけられています。タカハシガリレイのユーザー様の"冷凍食品"にとっても夏場の温度管理はとても重要で、かつては6月～9月を「温度管理月間」と定められていました。温度コントロール技術はガリレイグループの専門分野であり、併せてエネルギー管理にも力を入れております。お客様へ安心安全な装置･機器を供給すべく日々精進しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

6月には3年ぶりにFOOMA JAPANに出展しました。コロナ禍での東京開催で、会期前はどうなるかと不安ではありましたが、蓋を開けてみると、総来場者数は3年前の東京開催と大差なくコロナ前の賑わいを取り戻し、ガリレイグループ全体では前回比113%と盛況に閉幕することが出来ました。ご来場者様の将来へ向けた取り組みの模索が鮮明に出ていたと思われます。課題や疑問、ご相談などは弊社営業、サービスに何なりとお申し付けください。

円安、ウクライナ情勢やコロナ禍、原油高などで原材料費の高騰、また入手困難な材料や納期が不安定な制御機器類があり皆さまには多大なご迷惑をお掛けしております。その中でも納期調整等ご協力いただき誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。暑さはまだしばらく続きそうです。どうかくれぐれもご自愛ください。

FOOMA JAPAN 2022
INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

ご来場いただきありがとうございました。ご来場者数 2,760名

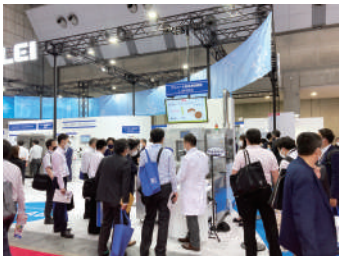
6月7日から東京ビッグサイトで開催された FOOMA JAPAN 2022 に出展しました。ガリレイグループとしては3年振りの FOOMA への出展でしたがコロナ前を彷彿させるたくさんのお客様にご来場いただきました。心よりお礼申し上げます。

タカハシガリレイは『MILAB を FOOMA 会場で再現』というコンセプトでトンネルフリーザーの展示やアルコール急速凍結装置 L-SHOCK での凍結実演を行い、多くのお客様にご来場いただきました。今回、ご来場いただけなかった方のためにも出展内容についての紹介動画をご用意いたしましたので、ぜひ下記 QR コードよりご覧ください。今年の反省等を活かし来年の構想を今から進めてまいります。是非ご期待ください。

＼来年も乞うご期待／

FOOMA　JAPAN　2023
6月6日（火）～9日（金）

超小型 QSJ トンネルフリーザー



アルコール急速凍結装置での凍結実演

今回発表した CO2 冷凍機ユニット「NOBRAC」

新型リフレクトウイング搭載トンネルフリーザーと搬送ライン

フードサイエンスソリューション

食を科学し、価値創造に貢献

2022 年 4 月よりガリレイフードサイエンスセンターが始動しました。
ガリレイフードサイエンスセンターとは、フクシマガリレイとタカハシガリレイの社員で構成され、食の衛生管理や品質を科学的に評価するためにさまざまな試験・検査・分析をお客様と一緒に実施することで、商品開発や製品開発など新しい価値創造に貢献することを目標に発足されました。当グループが所有しているデータを基にお客様の食品や製造工程におけるお悩みの解決に向けてサポートしてまいります。

検査内容

- 食品微生物検査
- おいしさ評価「客観的評価法」と「主観的評価法」
- 検査機器での評価
  ・味認識装置　・色彩色差計　・レオメーター　・電子顕微鏡、実態顕微鏡など

味認識装置

レオメーター

品質評価事例（食パン）

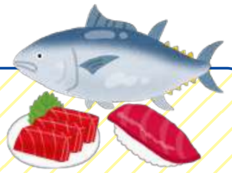
1 嗜好型官能評価
当社グループ社員 (最大 100 名) が 食べ比べて評価を実施
（もっちり感や口溶け、好み等について評価）

2 水分量や物性の測定
水分量と物性（食感）を測定し、官能評価結果との相関関係を確認

3 味覚の分析
旨味や苦味等について分析し、味の特徴を客観的に評価

ガリレイフードサイエンスセンターと一緒に「おいしさ」を科学的に検証・評価してみませんか。

TAKAHASHI COLUMN

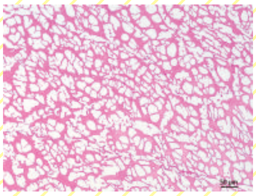


アルコール急速凍結装置を使っての比較テスト

弊社のアルコール急速凍結装置（L-SHOCK）と家庭用冷凍庫でマグロを凍結し、それぞれ比較検証してみました。

急速凍結とは、食品内部の水が氷に変化する（氷結晶が生成される）-1℃～ -5℃の「最大氷結晶生成帯」を短時間で通過し、凍結することです。反対に家庭用冷凍庫でゆっくりと凍結させることを緩慢凍結といいます。

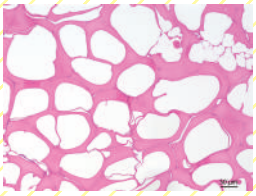
急速凍結したマグロ


撮影：一般社団法人日本食品分析センター

組織が大きく破壊されることなく、均一に凍結されている。

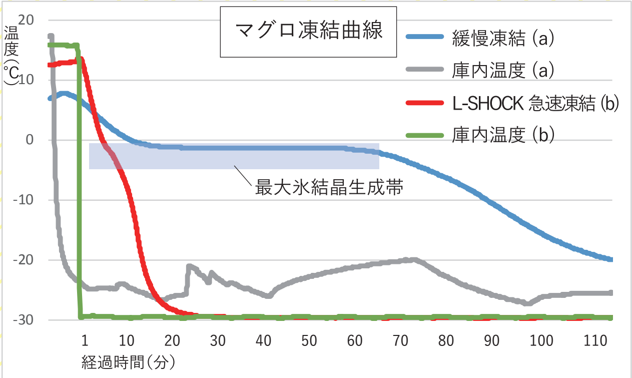
解凍後、ドリップほとんど無し

緩慢凍結したマグロ


撮影：一般社団法人日本食品分析センター

組織が大きく破壊され、大きな空隙が全面に見られる。

解凍後、ドリップが発生



アルコール急速凍結装置（L-SHOCK）で急速凍結を行ったマグロは、組織が大きく破壊されることなく均一に凍結されています。一方、家庭用冷凍庫で緩慢凍結させたマグロは、組織が大きく破壊され、大きな空隙が全面に見られます。また解凍後は、急速凍結させたマグロはドリップがほとんど無く、緩慢凍結のマグロはドリップ量が多く発生しています。本検証から急速凍結は食品の旨み成分や品質を維持することが細胞レベルでも明確になりました。弊社取り扱い機器は急速凍結に特化しております。急速冷却・凍結にご興味ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

PICKUP

導入事例

お客様にご導入いただきましたトンネルフリーザー®により、業務効率化やコスト削減など、さまざまな課題解決に貢献出来た事例をご紹介いたします。

朝日共販株式会社 関西事業所様（兵庫県神戸市東灘区）

トンネルフリーザー®の増設で生産効率向上！

お悩み

旧工場では大型1台、小型1台のトンネルフリーザーをご使用いただいておりましたが、事業拡大に伴い生産能力不足となっておりました。また、納入後年数が経過しており老朽化の問題もありました。その中で新社屋の建設が決まり、生産設備も一新されることになりました。使い勝手やメンテナンス対応の実績から新工場でも、とお声を掛けていただきました。

解決

旧工場のトンネルフリーザーの使い勝手を踏襲した上で生産性アップとなる大型トンネルフリーザー2基をご提案いたしました。以前とは生産する商品や生産量が異なっている為、改めて基準となる商品や生産量を確認し、最適なフリーザーを御提案、導入を決めていただきました。大型のトンネルフリーザーを2台導入いただいたことで、生産性が2〜3割向上し、性能アップでミスなく安心、安全な商品の供給につながっています。（営業担当：佐久良）

◎対象食品・商品：かに
◎導入された機器：
OSJ-200FF-6.9N（C）Y型×2基

株式会社いちごホールディングス様（宮城県仙台市）

スパイラルフリーザーの更新で増産と安定供給の確立！

お悩み

【お客様の声】
既存ラインの老朽化と、メーカーの対応問題で品質と製品供給にリスクを抱えていました。またピザチェーン店の拡大に向け、数量の増産供給をする必要に迫られていました。

解決

【お客様の声】
タカハシさんの納入実績、またスパイラルフリーザーという特殊コンベアにおける信頼の高さから採用させていただきました。導入フリーザーは、スペースを確保した上で将来の増産にも対応する能力を保持していただき、先を見据えた上での安心感がありました。またメンテナンスにおいても仙台営業所が近く、今後の保守相談についても安心しております。（営業担当：橋本）

◎対象食品・商品：ピザ生地玉
◎導入された機器：
スパイラルフリーザー

有限会社池田冷凍食品様（沖縄県宮古島市）

トンネルフリーザー®の導入で増産体制強化！

この度は既存工場を増改築し、生産能力の増強を図るために新規設備を導入いただきました。今までは冷凍庫で1日かけて凍結していましたが、トンネルフリーザーの導入で約20分での凍結が可能となり、品質向上と迅速な生産の両立が可能となりました。（営業担当：平井）

◎対象食品・商品：
宮古牛・石垣牛（ハンバーグ、スライス・カット肉）
◎導入された機器：
OSJ-120IC-8NY及びシャトルコンベア

GALILEI TOPICS

自然冷媒採用　CO2 冷凍機ユニット 2022 年秋、受注開始

13 気候変動に具体的な対策を

GALILEI グループのカーボンニュートラルへの実現に向けた取り組みに対し、機器、サービスを総称する「新たなブランド」を掲げ展開します。

NOBRAC
ノブラック

炭素を表す「CARBON」を逆から並べて読みます。
『NOBRAC』には「炭素社会の CO_2 増加の世の中の流れを逆転させる」という意味を込め、ゼロカーボンの思いから “0” にも見えるマークとしています。

環　境

- オゾン破壊係数（ODP）が 0
- 地球温暖化係数（GWP）が 1

安　心

- 無味、無臭、不燃性の為、取扱が容易
- アンモニア（NH3）で必要な除外設備、非常用電源設備が不要
- 低振動設計によるガス漏れリスク低減

性　能

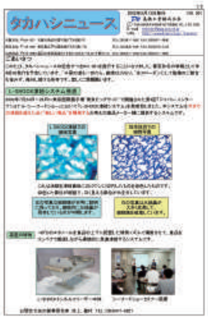
- 直接膨張乾式システムを採用
- 独自の最適制御技術で省エネ性能向上

フクシマガリレイ　新社長就任に関するお知らせ

フクシマガリレイ株式会社 (本社：大阪市西淀川区) は、2022 年 6 月 27 日付で代表取締役社長 福島 裕の後任として、新たに福島 豪が代表取締役 社長執行役員に就任したことをお知らせします。なお、これに伴い、福島 裕は、同社の代表取締役会長に就任し、代表取締役を 2 名体制としました。

タカハシニュース 20th

「千里の道も一歩から、継続は力なり」をスローガンに 2002 年 9 月に第一号を発行しました。それから 20 年という月日が流れ、社長が変わり、社名が変わり、組織や体制が変わっていく中でも受け継がれ、たくさんのお客様に携わっていただき継続することが出来ました。
お客様のご都合も省みず送付を続けさせていただいていることに感謝し、今後も発展させていく所存でございます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



初刊 2002 年 9 月発行

10 号 2005 年 1 月発行

39 号 2012 年 7 月発行

64 号 2022 年 1 月発行

導入事例紹介件数 223 件

発行回数 66 回

GALILEI
タカハシガリレイ株式会社　URL：https://www.galilei-tm.co.jp/

大阪本社　〒555-0011　大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6番18号　TEL：(06) 6471-0851　FAX：(06) 6471-8646

東京支店　九州支店　北海道営業所　仙台営業所　中部営業所　四国営業所　本社工場　御幣島工場